

令和元年度において国の地方創生関連交付金を活用して実施した事業の効果検証 ～国の基準による効果検証～(案)

資料3

No.	総合戦略における施策分野	交付対象事業の名称	取組内容	交付金の種類(補助率)	実績額(事業費) 単位:円 ※連携事業の場合は本市分の事業費	本事業における重要業績評価指標(KPI)				実績値	今後の方針
						指標	指標値	単位	目標年月		
1	Ⅲ-6 ③	二市連携ICT活用保育事業	岐阜県美濃加茂市と連携して保育版状態把握システムの具体的利用可能性や評価指標を構築するための実証事業を行った。また、「自治体通信」に保育版状態把握プログラムの紹介記事を掲載するなど普及展開活動を行った。連携先の美濃加茂市においては、5自治体より視察を受け入れた。	①地方創生推進交付金(1/2)	3,103,000	指標① 待機児童の減少数(米子市と美濃加茂市の合計値)	R1年度において30	人	R2.3	-56 米子市:-56 美濃加茂市:0	本システムの活用により、保育士のスキルアップについては一定の効果があったが、保育士不足の解消には至らず、KPI未達成となった。今後も、この事業で得たノウハウを活用し、保育の質向上と、待機児童解消に向けた、保育人材の確保と定着に努める。
						指標② 新規女性就業者数(美濃加茂市のみ)	R1年度において1,063	人	R2.3	914	
						指標③ 発達支援一般相談件数(美濃加茂市のみ)	R1年度において453	件	R2.3	502	
2	Ⅳ-1 ②-D	名峰「大山」とともに生きる・鳥取県西部圏域の広域観光推進プロジェクト	鳥取県と鳥取県西部圏域市町村で策定した地域再生計画(名峰「大山」とともに生きる・鳥取県西部圏域の広域観光推進プロジェクト)が国から認定された。平成31年度は、当該計画に基づき、地方創生推進交付金を活用して、下記の事業を実施した。 ●伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会事業 大山山麓の謎解き宝探し、日本遺産PR誘客事業、米子城跡ライトアップ、米子城歴史ウォーク、皆生・大山SEA TO SUMMIT2019広報PR、皆生UMICOTA、大山圏域魅力向上補助金、刀剣・たたら関連事業、JAFデジタルスタンプラリー、大山講座、大山俳句大賞、大山を望む野外ライブ、大山ブランドPR事業 ●大山山麓・日野川流域観光推進協議会事業 大山パワーブランド化推進事業、広域観光連携体制整備事業、大山エコトラック事業、大山山麓周遊事業	①地方創生推進交付金(1/2)	23,168,501	指標① 観光入込客数(年間)	R2年度において11,140,000 ※R1目標:11,000,000人	人	R3.3	(7月から8月に公表)	引き続き、認定された地域再生計画「名峰「大山」とともに生きる・鳥取県西部圏域の広域観光推進プロジェクト」に基づき、地方創生推進交付金を活用して取り組むこととしている。
						指標② 外国人宿泊者数(年間)	R2年度において394,330 ※R1目標:149,974人	人	R3.3	(7月から8月に公表)	
3	Ⅳ-2 ④	中海・宍道湖・大山圏域ブランド化推進プロジェクト	継続して外国人観光客受入環境整備(観光案内所をはじめ業種別の各連絡会の開催、各種パンフレットの作成等)を実施した。WEBプロモーション等、海外向けの情報発信を行った。観光客誘致事業を機動的に展開することを目的として、平成29年度に設立した圏域DMO「中海・宍道湖・大山圏域インバウンド機構」を改組し法人化した(平成31年2月12日設立総会、4月1日法人登記)。人口集中地域である三大都市圏(首都圏・中京圏・関西圏)や直通通のある東北方面(仙台)等をターゲットとして観光プロモーションを実施した。※山陰いいものマルシェは新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	①地方創生推進交付金(1/2)	4,000,000	指標① 圏域への観光客入込数	R2年度において40,700千人 ※R1目標:38,258千人	人	R3.3	(7月から8月に公表)	引き続き、認定された地域再生計画「中海・宍道湖・大山圏域ブランド化推進プロジェクト」に基づき、地方創生推進交付金を活用して取り組むこととしている。※イベント等については、新型コロナウイルス感染症の状況により実施を検討していく。
						指標② 圏域での外国人宿泊客数	R2年度において161,610 ※R1目標:115,447人	人	R3.3	(7月から8月に公表)	
						指標③ 山陰いいものマルシェ来場者数《累計》 ※H27(45,000人)からの累計	H29年度において150,000人	人	H30.3	101,000	
4	Ⅳ-2 ⑦	中海・宍道湖・大山圏域のローカルToグローバルイノベーション	医療機関のニーズと企業が持つ技術とのマッチング、また医療機器の開発事業化への助言などを一体的に行うことを目的として、医工連携コンシェルジュを設置した。講演会を実施したほか、ニーズ・シーズ調査、医療機器開発支援及びデータベースの構築を行った。また、関東及び関西圏での企業訪問によるマーケティング調査を実施し、販路開拓等の支援を行った。	①地方創生推進交付金(1/2)	4,884,694	指標① 圏域内企業等の優れた技術を活かした医療機器等の実用化件数 ※H30からの目標設定	R2年度において6 ※各年度2件	件	R3.3	1 ※R1:0件	引き続き、認定された地域再生計画「中海・宍道湖・大山圏域のローカルToグローバルイノベーション」に基づき、地方創生推進交付金を活用して取り組むこととしている。
						指標② 入口・開発・出口の各支援事業(仮称)の相談件数 ※H29からの目標設定	R2年度において400 ※各年度100件	件	R3.3	292 ※R1:113件	
						指標③ 入口支援事業(仮称)により研究事業へのマッチング成立件数 ※H29からの目標設定	R2年度において20 ※各年度5件	件	R3.3	17 ※R1:5件	
5	Ⅳ-1 ②-D	山陰のド真ん中！皆生温泉圏域観光拠点整備事業	皆生温泉のランドマークとして、新たな観光客誘客や地元の市民の利用の向上などを目的に、米子市観光センターの改修工事を行った。(平成29年度実施) ＜事業概要＞ エレベーター新設、トイレの洋式化、照明設備等の改修 ※地方創生推進交付金「名峰「大山」とともに生きる・鳥取県西部圏域の広域観光推進プロジェクト」と連携	②地方創生拠点整備交付金(1/2)	※H28予算	指標① 米子市観光センターの利用者数	R2年度において116,000 ※R1目標:113,000	人	R3.3	86,430	観光センターを圏域の観光拠点として活用するほか、集客性のあるイベント実施や、施設利用のPRを強化するなど、利用者増にぎわいの創出を図ることとしている。
						指標② 米子市観光センターの総売上高	R2年度において50,000 ※R1目標:40,000	千円	R3.3	4,726	

No.	総合戦略における施策分野	交付対象事業の名称	取組内容	交付金の種類 (補助率)	実績額(事業費) 単位:円 ※連携事業の場合は本市分の事業費	本事業における重要業績評価指標(KPI)				実績値	今後の方針	
						指標	指標値	単位	目標年月			
6	IV-2 ③	中海・宍道湖大山圏域 インド人材確保・企業 連携推進事業	山陰インド協会等の関係団体と連携し、圏域企業の海外進出支援のための官民挙げたインド進出及び人材確保実現のため以下の事業を行った。 ・現地での就職フェア及び日本人の日本語教師をコチ理工大学に配置、大学等で日本語教育を実施した。 ・インドIT人材等を雇用するに当たっての課題等を明らかにするため、生活面の配慮、環境整備、研修体制を調査した。 ※インドから留学生を招聘し、島根大学での受講及び圏域内IT企業等におけるインターンシップを実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	①地方創生 推進交付金 (1/2)	2,462,199	指標①	インドIT等人材の圏域内企業への就職者数	R2年度において23 ※R1目標:8人	人	R3.3	5 ※R1:0人	引き続き、認定された地域再生計画中海・宍道湖・大山圏域インド人材確保・企業連携推進事業計画』に基づき、地方創生推進交付金を活用して取り組むこととしている。 ※人材の交流については、新型コロナウイルス感染症の状況により実施を検討していく。
						指標②	日印間業務提携企業数	R2年度において4 ※R1目標:2社	社	R3.3	1 ※R1:0社	
						指標③	インド人留学生インターンシップ受入れ人数	R2年度において42 ※R1目標:28人	人	R3.3	14 ※R1:中止	
7	II-8 ①	山陰まんなかインバウンド推進プロジェクト	米子の夜の魅力向上を図るため、「ナイト・デスティネーション in Yonago」として以下の事業を行った。 【皆生温泉まち歩き魅力増進事業】 ・皆生温泉の四条通りを活用し、皆生温泉街の滞留拠点である米子市観光センターとその海岸側の終着点である有本翁像に街路灯で動線をつくり、砂浜への誘導(あるいは、その逆＝砂浜から観光センター)を行った。通りの各所に写真スポットとなるような照明器具(紋様灯籠)を設置し、第2の滞留拠点として夕方から夜間の賑わいを創出した。 ・皆生海浜公園を将来的な賑わい拠点とし、公園内にLEDポールを設置し、夜間のまち歩きの滞留拠点として相応しい明かりの彩について検討した。 【米子城 魅せる!プロジェクト 米子城ライトアップ事業】 ・平成31年4月26日から令和元年5月6日のGW期間に「米子城跡ライトアップ2019春の陣」として春季に初のライトアップを実施。令和元年10月4日から10月27日まで「米子城跡ライトアップ2019秋の陣」を開催。中心市街地からの視界を確保するため、ライトアップの範囲を拡大したほか、ガイドツアーを実施し見どころスポットの紹介等を行った。	①地方創生 推進交付金 (1/2)	6,641,878	指標①	外国人観光宿泊客数	R2年度において152,000 ※R1目標:132,000人	人	R3.3	(7月から8月に公表)	引き続き、松江市、出雲市、境港市と連携し、一体となった観光PRやインバウンド対策を推進する。
						指標②	外国人観光客消費額単価	R2年度において175,653 ※R1目標:155,653円	円	R3.3	137,948	
						指標③	外国人観光客の満足度	R2年度において70 ※R1目標60%	%	R3.3	89.6	
						指標④	実施したインバウンド対応メニューのうち満足度が8割以上のものの数	R2年度において28 ※R1目標:13本	本	R3.3	4	

【凡例】

交付金の種類

①地方創生推進交付金:「地方版総合戦略」に定められた自主的・主体的で先導的な事業を記載して作成した地域再生計画に基づく事業の実施を支援すること目的とする交付金(補助率1/2)。平成28年度から複数年の支援。

②地方創生拠点整備交付金:地方版総合戦略に基づく自主的・主体的な地域拠点づくりなどの事業のうち、未来への投資の実現につながる先導的な施設整備を支援すること目的とする交付金(補助率1/2)。